

山口ウロオンコロジーグループで診療を受けられる皆様へ

本研究グループでは、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

| | | | |
|---------------|--|--------------|------------------|
| ① 研究課題名 | ハイリスク前立腺癌に対する根治的前立腺全摘術の治療成績に関する検討 | | |
| ② 実施予定期間 | 2015年 10月 1日 ~ 2018年 3月 31日 | | |
| ③ 対象患者 | 1) 下記対象期間中に山口大学医学部附属病院で前立腺全摘術を施行した患者さん。 2) 下記対象期間中に山口大学関連医療機関で前立腺全摘術を施行し、術後再発ハイリスクと診断された患者さん。 | | |
| ④ 対象期間 | 2009年 1月 1日 ~ 2013年 12月 31日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 山口大学医学部附属病院 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 泌尿器科 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 松山 豪泰 | 所属 泌尿器科 |
| ⑧ 使用する資料等 | 過去のカルテ上の診療情報を、遡って調査します。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | 本研究は多施設共同研究で、山口大学医学部附属病院において根治的前立腺全摘術を施行した患者さんおよび関連医療機関の施設において根治的前立腺全摘を施行し、術後に再発のリスクが高いと診断された患者さんを対象に、再発や生命予後の調査を行い、前立腺癌の再発を予測するノモグラムを作成し、手術および周術期補助療法の適応症例を同定が可能か検討します。 本研究は後ろ向き（生体試料を用いない）探索的研究で、診療録から情報を収集し、生年月日以外の個人情報に伏せた状態で山口大学医学部附属病院に集め解析を行います。 | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2015年 月 日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会発表又は論文発表にて結果を公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 情報は連結可能匿名化を行い、本研究を実施します。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 知的財産権の帰属先は山口ウロオンコロジーグループです。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 泌尿器科学講座の奨学寄付金を用いて実施します。 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません。 | | |
| ⑰ 問い合わせ先・相談窓口 | 松本 洋明 山口大学 泌尿器科 講師 | | |
| | 電話 | 0836-22-2275 | FAX 0836-22-2276 |

山口ウロオノコロジーグループ参加施設（21施設）

今回、対象となりうる施設は○のついた18施設です。

| 施設名 | 個人情報管理者 |
|----------------------|---------|
| ○ 小倉記念病院泌尿器科 | 城嶋 和孝 |
| ○ 済生会下関総合病院泌尿器科 | 高井 公雄 |
| ○ 下関市立中央病院泌尿器科 | 吉弘 悟 |
| ○ 関門医療センター泌尿器科 | 鄭 泰秀 |
| ○ 下関厚生病院泌尿器科 | 山口 史朗 |
| ○ 下関市立済生会豊浦病院泌尿器科 | 上領 頼啓 |
| ○ 山陽小野田市立小野田市民病院泌尿器科 | 北原 誠司 |
| 厚南セントヒル病院泌尿器科 | 金田 芳孝 |
| ○ 山口大学医学部附属病院泌尿器科 | 長尾 一公 |
| ○ 宇部興産中央病院泌尿器科 | 島袋 智之 |
| わだ泌尿器科クリニック | 和田 尚 |
| ○ 小郡第一総合病院泌尿器科 | 赤尾 淳平 |
| ○ 済生会山口総合病院泌尿器科 | 城甲 啓治 |
| ○ 山口赤十字病院泌尿器科 | 須賀 昭信 |
| ○ 都志見病院泌尿器科 | 石津 和彦 |
| ○ 山口県立総合医療センター泌尿器科 | 山本 光孝 |
| ○ 徳山中央病院泌尿器科 | 那須 誉人 |
| 徳山医師会病院泌尿器科 | 山本 憲男 |
| ○ 光市立総合病院泌尿器科 | 井本 勝彦 |
| ○ 周東総合病院泌尿器科 | 馬場 良和 |
| ○ 益田赤十字病院泌尿器科 | 青木 明彦 |